

平成 24 年度

「議員定数等に関する調査特別委員会市民アンケート」

調査結果報告書

平成 24 年 10 月

鳥取市議会議員定数等に関する調査特別委員会

目 次

I アンケート調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収状況	1
(4) 調査項目	1
II アンケート調査結果	2
1. 市議会への関心度について	2
質問 1-1 市議会への関心度	2
質問 1-2 市議会だよりの講読率	3
質問 1-3 ホームページ上のコンテンツの認知度	4
質問 1-4 市議会の会議の認知度	5
2. 市議会議員の活動について	6
質問 2-1 市議会議員の活動内容の認知度	6
質問 2-2 市議会議員の活動の満足度	7
質問 2-3 市議会議員からの意見や要望の要請	8
質問 2-4 市議会議員に意見や要望を伝えたか	9
質問 2-5 意見や要望を伝えたことのない理由	9
3. 市民の意見が市議会へ反映されているかについて	10
質問 3 市議会への市民の意見の反映度の把握	10
4. あなたの市議会に対する評価について	11
質問 4 現在の市議会の評価	11
5. 市議会議員の定数について	12
質問 5-1 市議会議員の定数 36 人の認知度	12
質問 5-2 市議会議員定数についての考え方	13
6. 回答者の属性	14
質問 6 (1) 性別	14
質問 6 (2) 年代	14
質問 6 (3) 居住地	15
(資料) アンケート調査票	16

◆◇ (1) 調査の目的 ◇◆

本市議会では、平成23年6月に「議員定数等に関する調査特別委員会」を設置し、議員定数を見直す方向で検討を進めている。

特別委員会における議員定数検討の参考資料とするため、郵送アンケートを実施し広く市民の意見を収集し、意向を把握するものである。

◆◇ (2) 調査方法 ◇◆

- ①調査対象 満20歳以上の市民2,000人
- ②調査方法 郵送による無記名アンケート調査
- ③調査期間 平成24年8月16日発送、平成24年8月30日締切
- ④調査委託先 株式会社 情報サービス鳥取

◆◇ (3) 回収状況 ◇◆

- ①配布数 2,000枚
- ②回収数 691枚
- ③回収率 34.6%

◆◇ (4) 調査項目 ◇◆

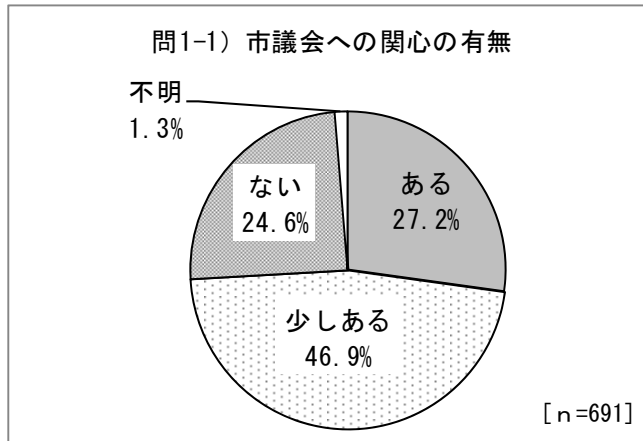
- 1 市議会への関心度の把握 (問1-1、問1-2、問1-3、問1-4)
- 2 市議会議員の活動に対する把握 (問2-1、問2-2、問2-3、問2-4、問2-5)
- 3 市議会への市民の意見の反映度の把握 (問3)
- 4 市議会に対する評価 (問4)
- 5 市議会議員の定数に対する意向の把握 (問5-1、問5-2)
- 6 調査対象者の属性について (問6)
- 7 市議会への意見・要望の把握

Ⅱ アンケート調査結果

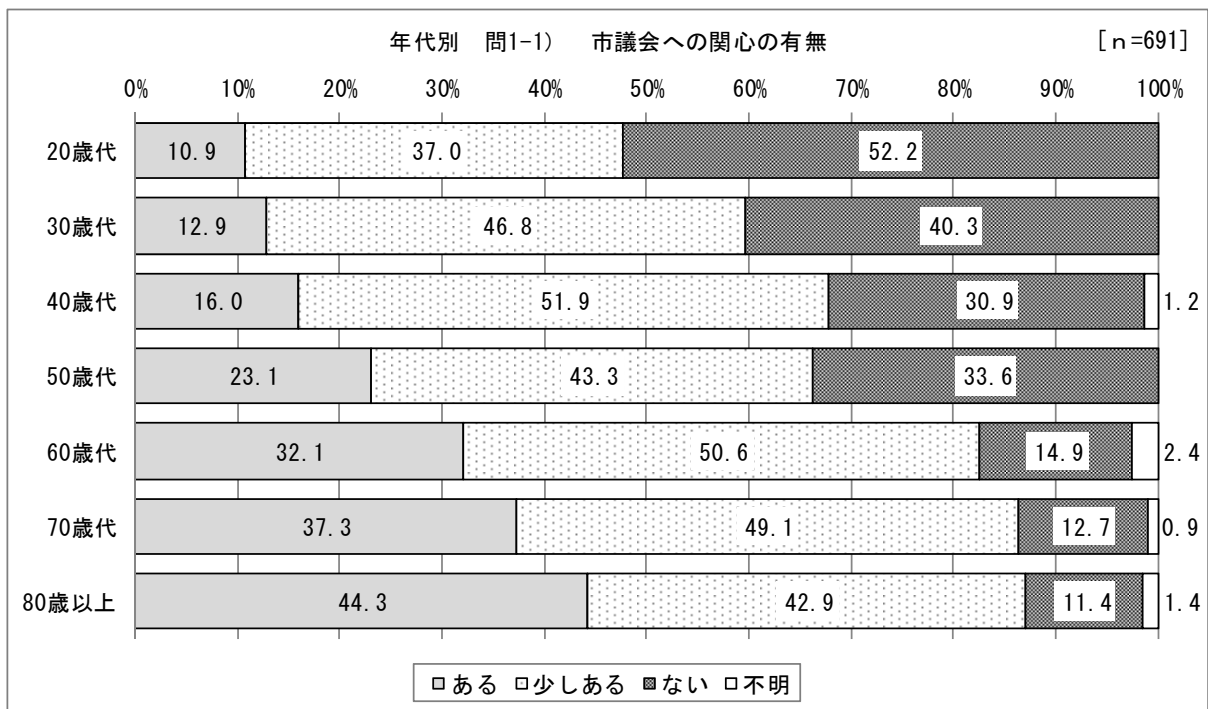
1. 市議会への関心度について

質問 1-1 市議会に関心がありますか。(〇は1つ)

全体で見ると最も多いのは「少しある」の46.9%、次いで「ある」が27.2%と7割を超える市民が市議会への関心を持っていることがうかがえる。

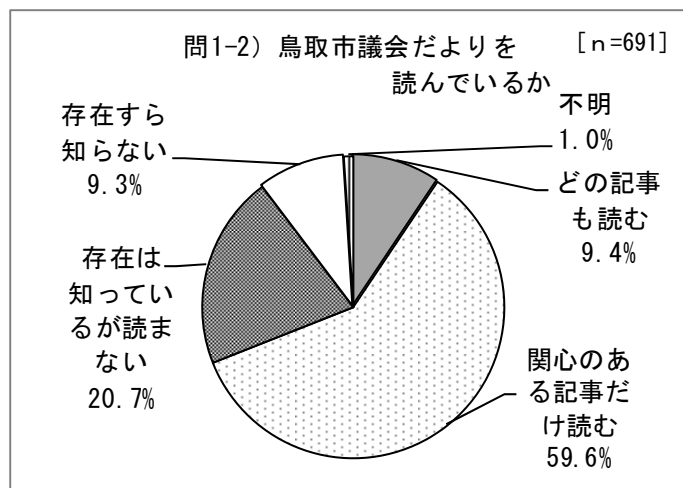


年代別で見ると、最も市議会への関心を持っている年代は「80歳以上」で87.2%が「ある」、「少しある」と回答している。次いで、「70歳代」、「60歳代」と続いており、高い関心度を持っていることがわかる。



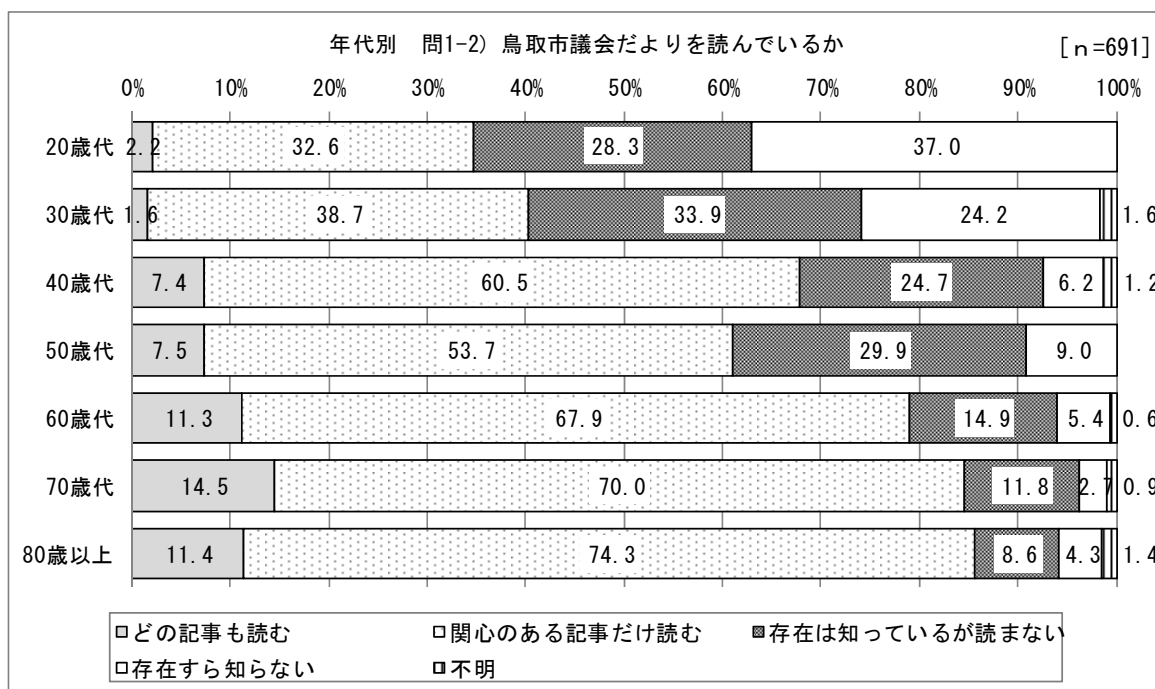
質問 1-2 鳥取市議会だよりを読んでいますか。(〇は1つ)

「関心のある記事だけ読む」が 59.6%と最も高く、「どの記事も読む」をあわせると、全体の約 7 割が鳥取市議会だよりを読んでいることがわかった。



年代別で見ると、「60 歳代」では約 8 割、「70 歳代」「80 歳以上」では全体の 8 割超が鳥取市議会だよりを読んでいる。

一方で、若年層の「20 歳代」では 34.8%、「30 歳代」では 40.3%と年代が若くなるほど関心の低さが目立っている。また、若年層 (20 歳代、30 歳代) においては、鳥取市議会だよりの発行の認知度も低い結果となっている。

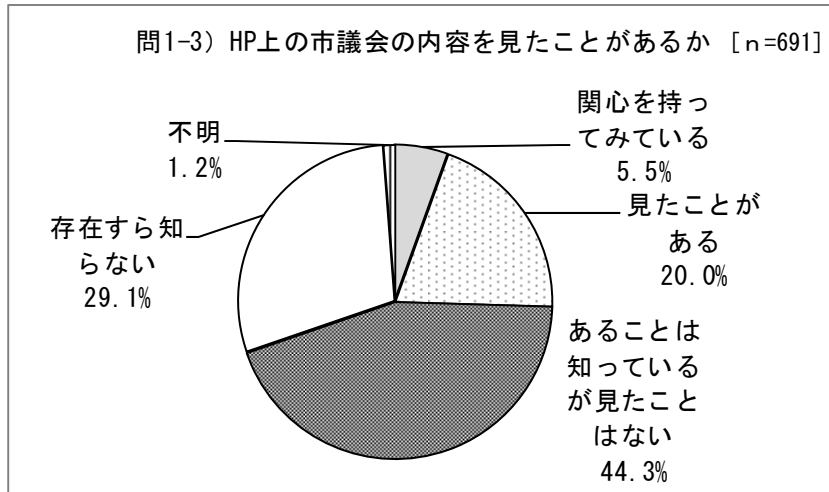


質問 1-3 鳥取市のホームページにある市議会の内容を見たことがありますか。

(○は1つ)

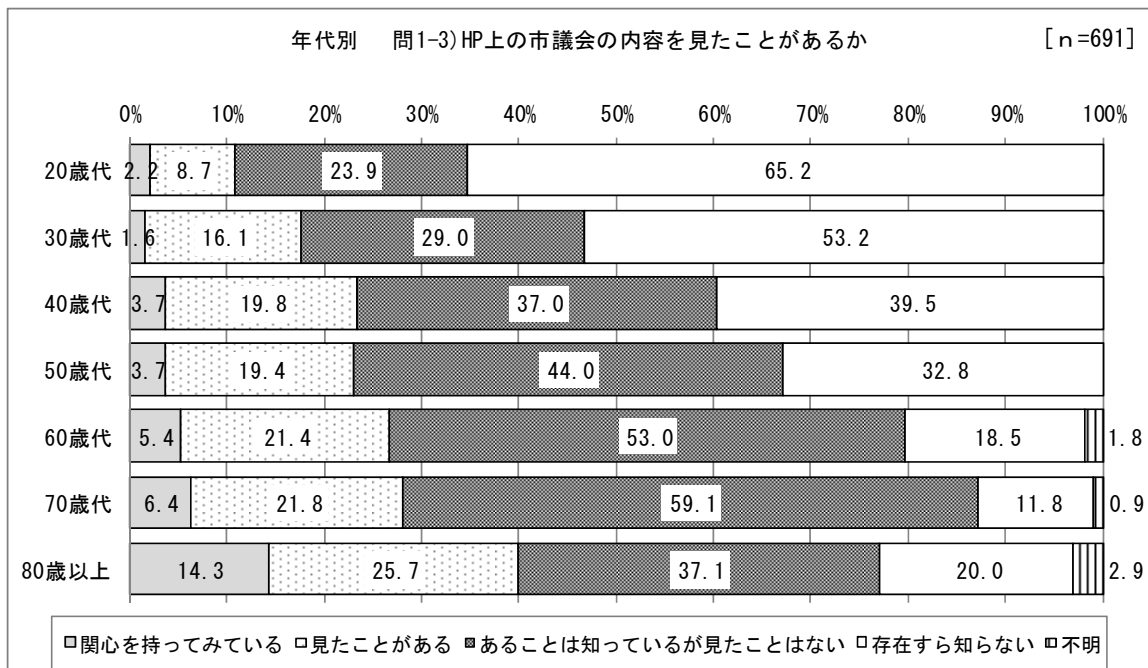
「あることは知っているが見たことはない」が最も多く 44.3%、次いで「存在すら知らない」が 29.1%と続いている。

全体の約 3 割においては存在を認識していない現状がうかがえる結果となっている。



年代別で見ると、「鳥取市議会だより」の発行の認知度と同じく、若年層（20歳代、30歳代）の認知度も低さをうかがう結果となっている。

特に、今回最も多い意見であった「あることは知っているが見たことはない」においては、「60歳代」では 53.0%、「70歳代」では 59.1%と高い比率を占めており、IT利活用の推進状況とも大きく関連する結果がうかがえる。

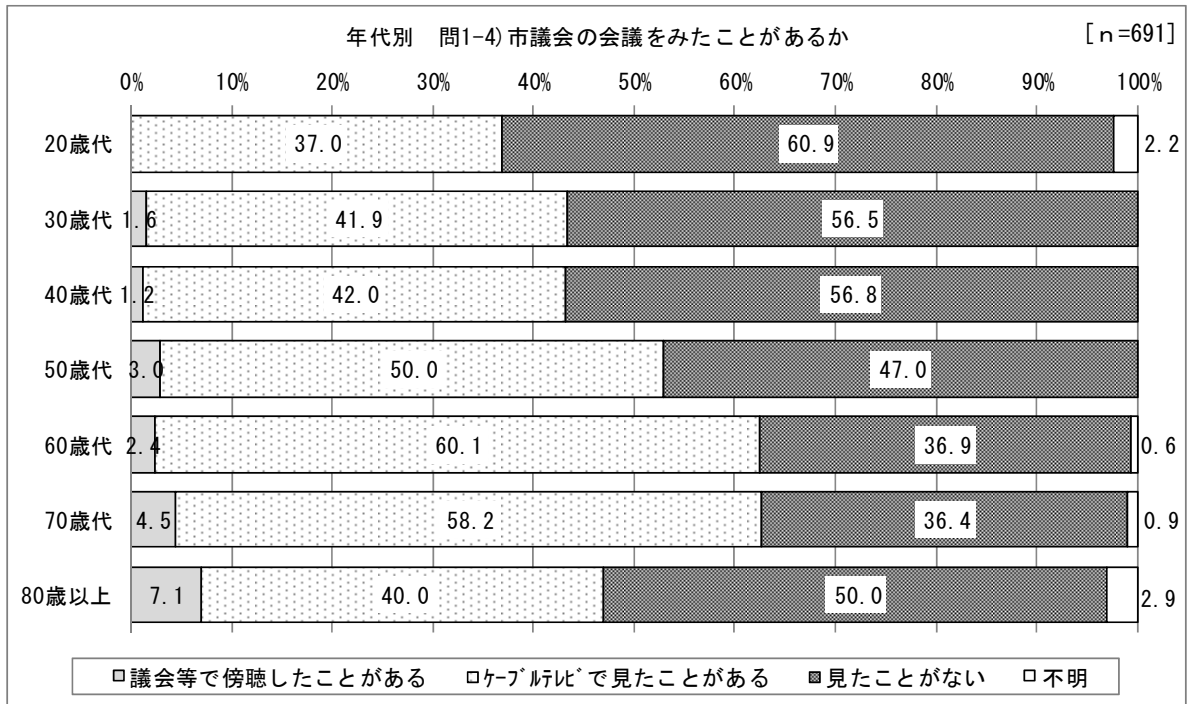
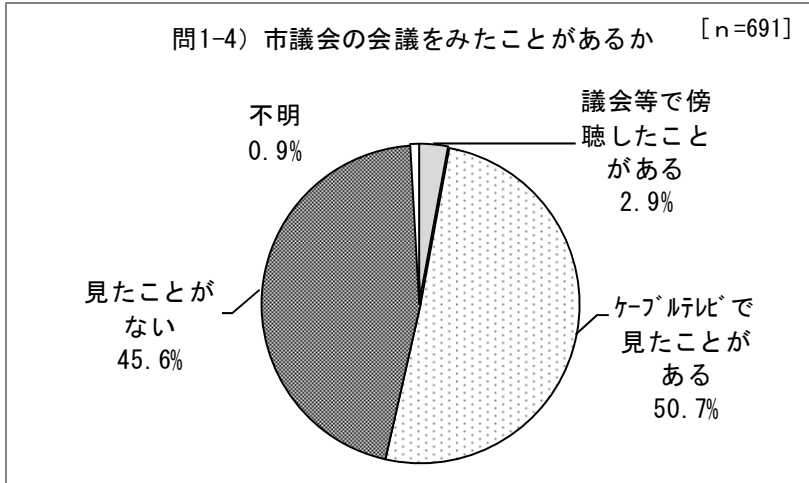


質問 1-4 市議会の会議（本会議・委員会）をご覧になったことがありますか。

（○は1つ）

最も多いのは「ケーブルテレビで見たことがある」の 50.7%。次いで、「見たことがない」が 45.6%となっている。

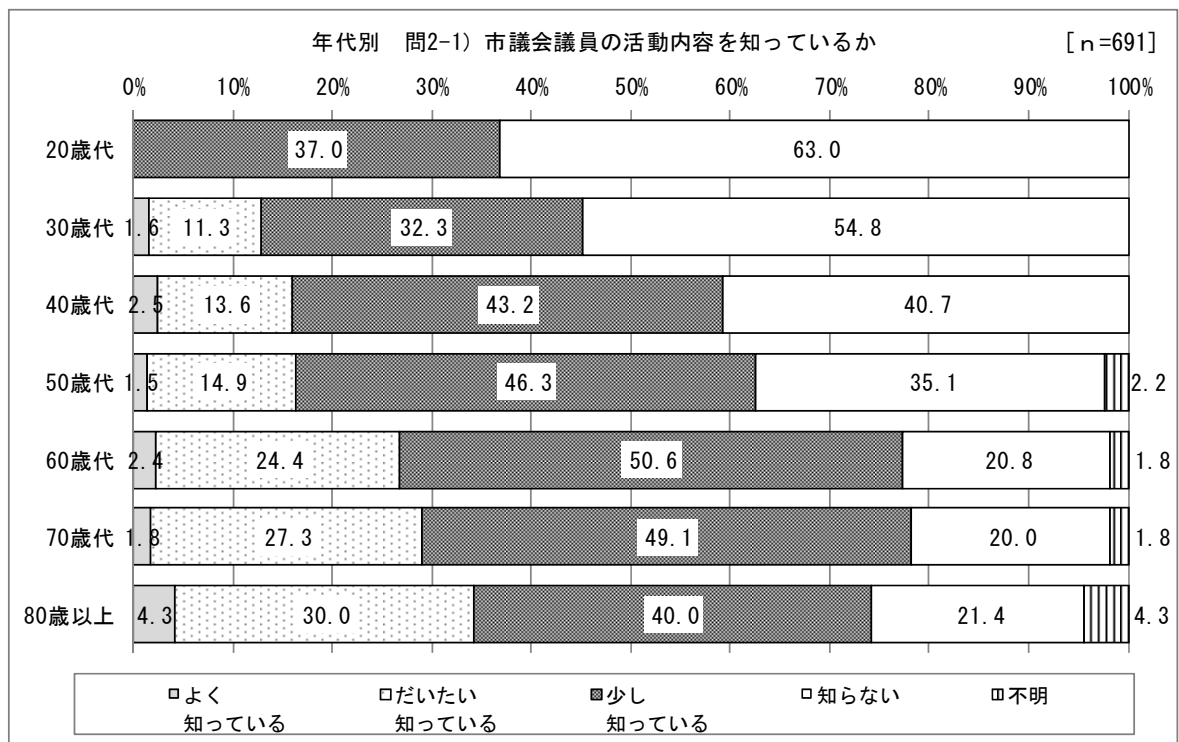
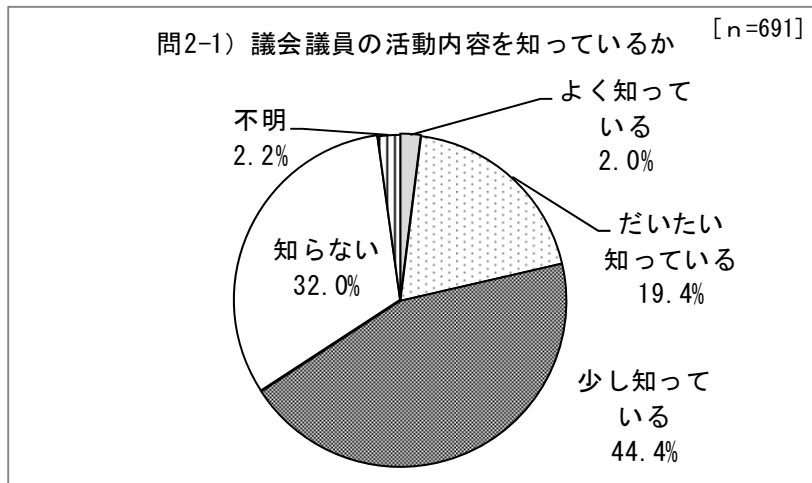
半数以上の市民が傍聴、またはケーブルテレビにより会議の様子をみたことがあるということがわかった。



2. 市議会議員の活動について

質問 2-1 市議会議員の活動内容を知っていますか。(〇は1つ)

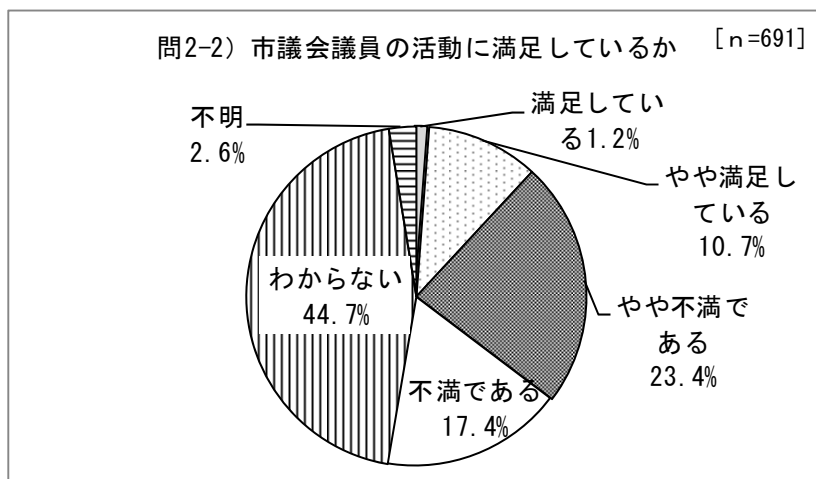
「少し知っている」が44.4%で最も多い。「知っている（「だいたい知っている」「少し知っている」含む）」は65.8%に対し、「知らない」は32.0%となっている。



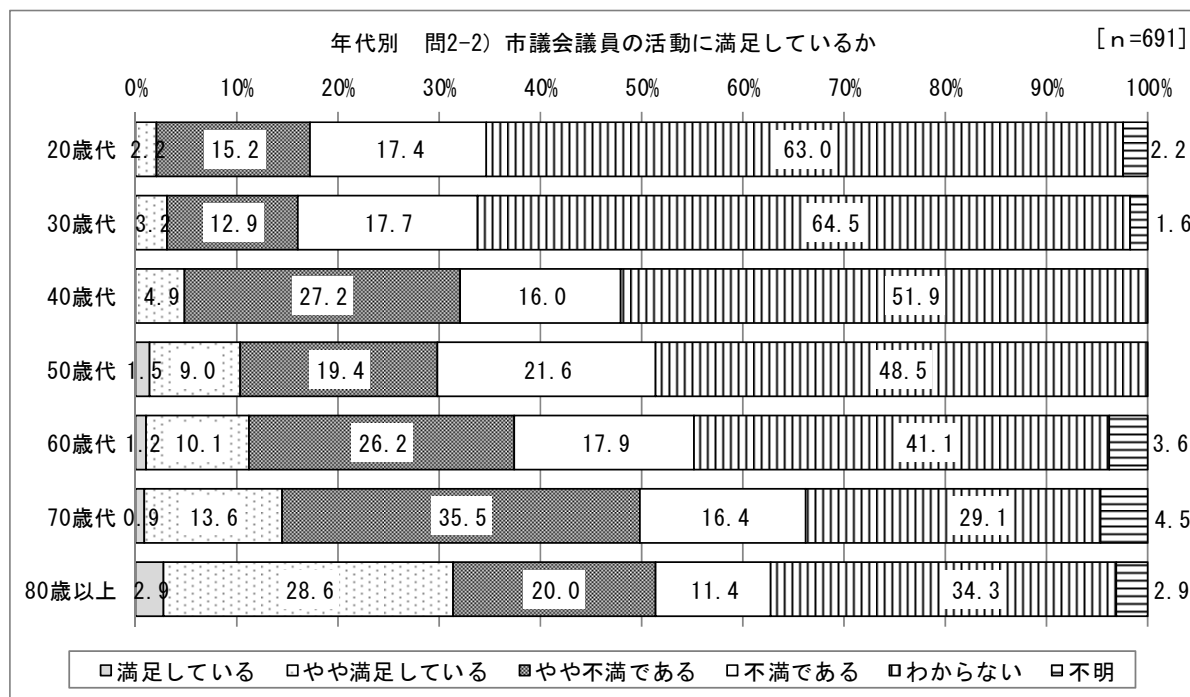
質問 2-2 市議会議員の活動に満足していますか。(〇は1つ)

「わからない」という中間的意見が 44.7%と最も多くなっている。

「不満である」、「やや不満である」の否定的な意見は、40.8%に対し、「満足している」、「やや満足している」の肯定的意見は 11.9%にとどまっている。

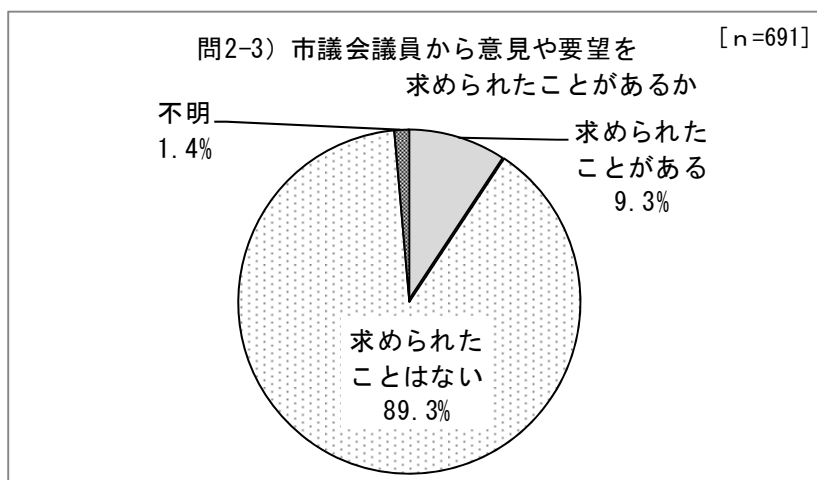


年代別でみると、「80歳以上」を除くすべての年代において「不満（「やや不満」含む）」不満度が「満足（「やや満足」含む）」満足度を上回る結果となっている。「80歳以上」では、満足度 31.5%が不満度 31.4%を 0.1ポイント上回っている。

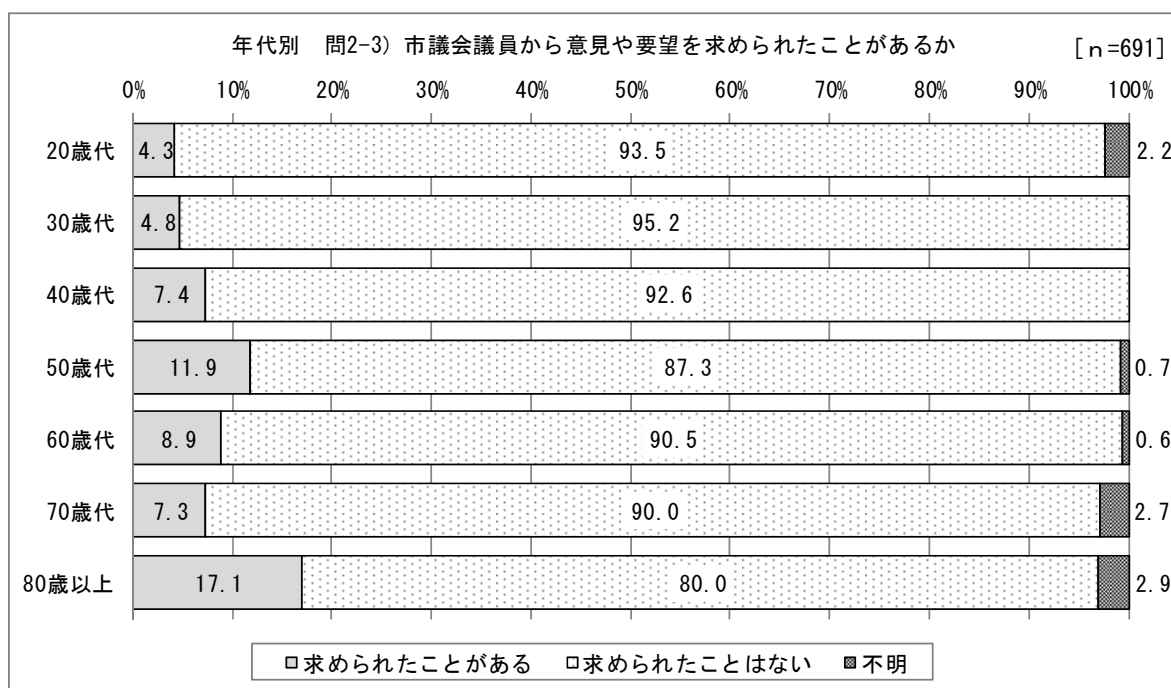


質問 2-3) 市議会議員から意見や要望を求められたことがありますか。(〇は1つ)

「求められたことはない」が89.3%と最も多く大多数の意見を占めている。これにより、ほとんどの市民が意見や要望を求められていないことがわかる。

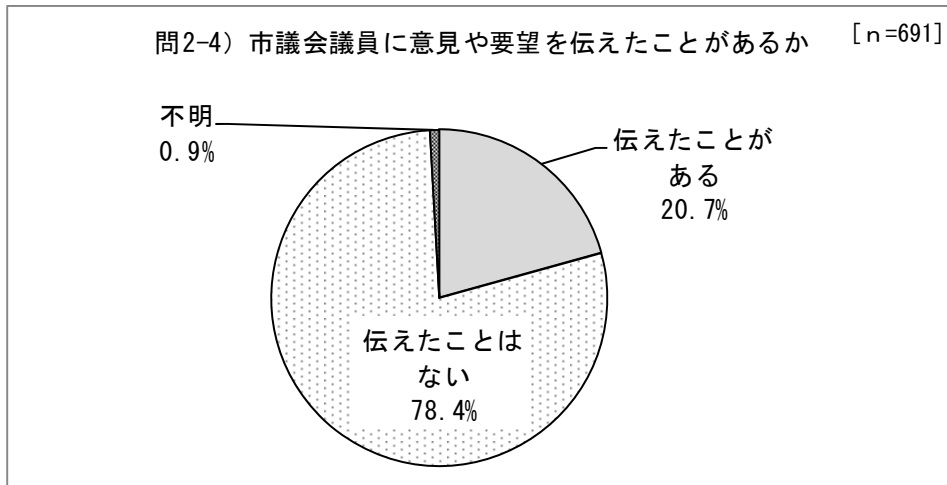


年代別でも、すべての地域で「求められたことはない」が「求められたことがある」を上回る結果であった。



質問 2-4 市議会議員に意見や要望を伝えたことがありますか。(○は1つ)

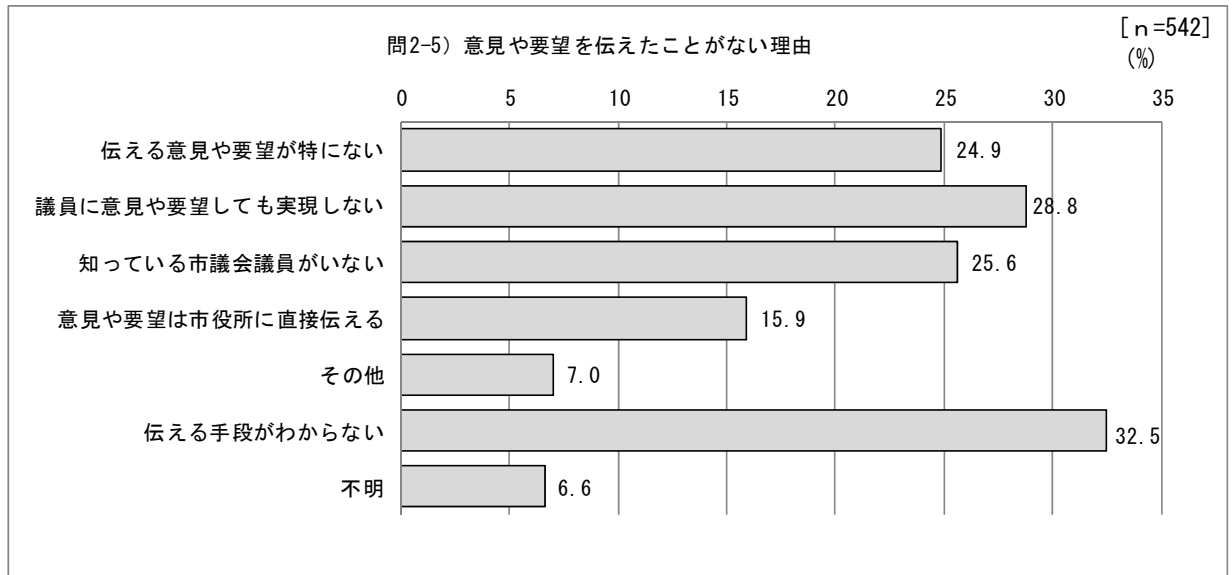
「伝えたことがある」は20.7%で全体の2割程度にとどまっている。



質問 2-5 (質問 2-4 で 2 を選ばれ方) 選ばれた理由をお答えください。

(○はいくつでも)

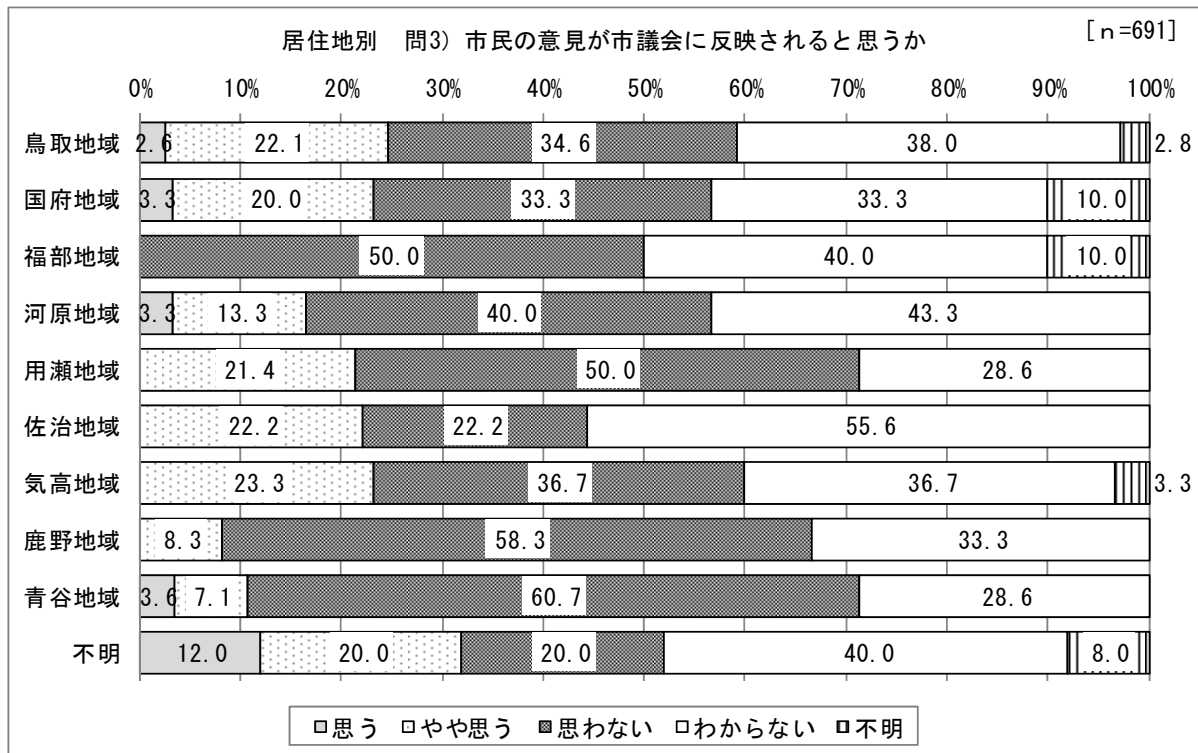
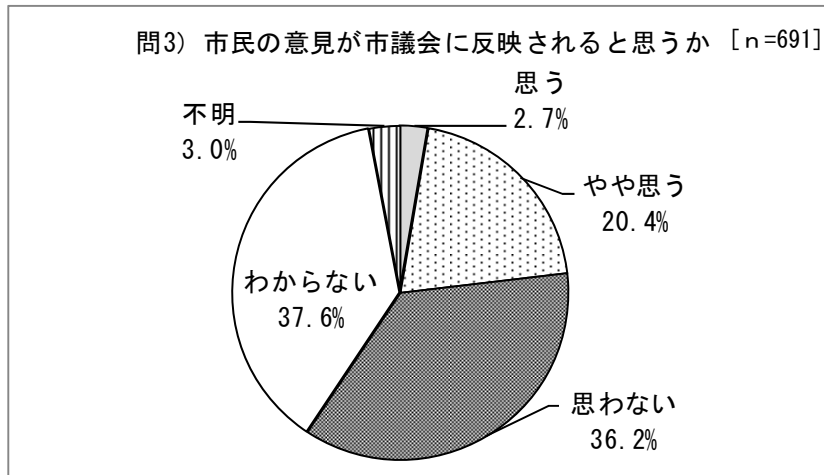
「伝えたことはない」の理由では、「伝える手段がわからない」が32.5%と最も多く、次いで「議員に意見や要望しても実現しない」が28.8%、「知っている市議会議員がいない」が25.6%と続いている。



3. 市民の意見が市議会へ反映されているかについて

質問3 市民の意見が市議会に反映されていると思いますか。(○は1つ)

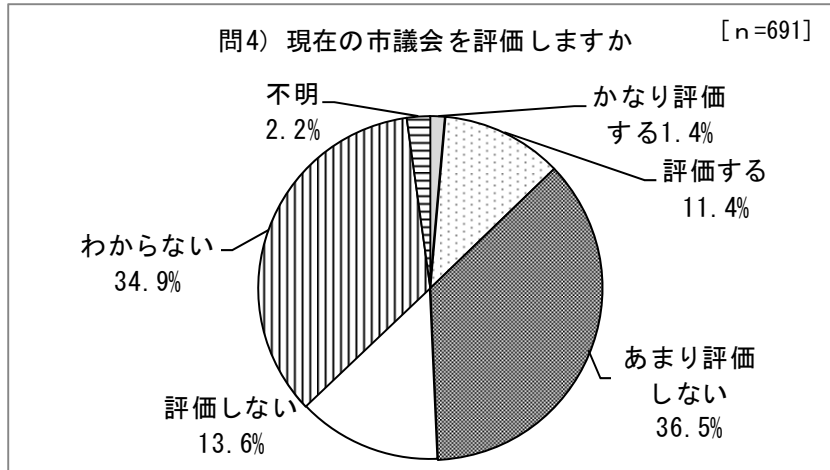
「わからない」の中間的意見が37.6%と最も多い回答となっている。一方では、「思う」、「やや思う」が23.1%に対し、「思わない」が36.2%と13.1ポイント上回っている。



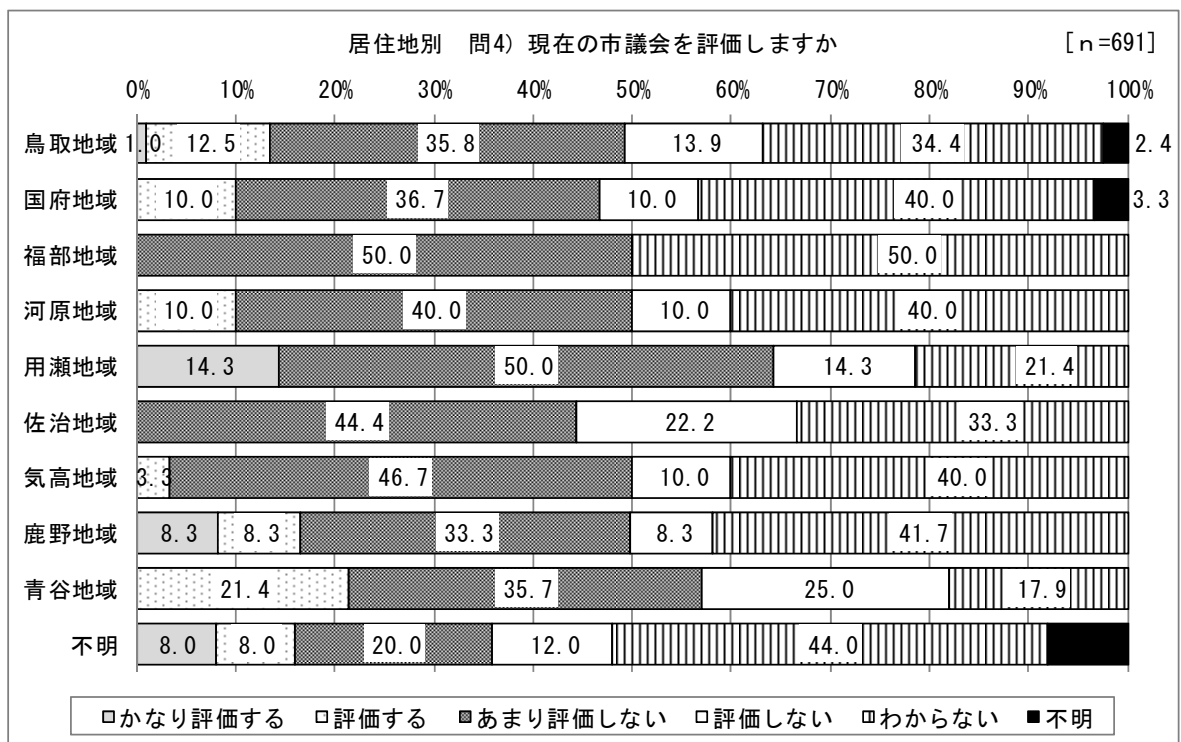
4. あなたの市議会に対する評価について

質問4 あなたは現在の市議会を評価しますか。(〇は1つ)

「あまり評価しない」が36.5%、次いで「わからない」が34.9%、「評価しない」の13.6%となっている。



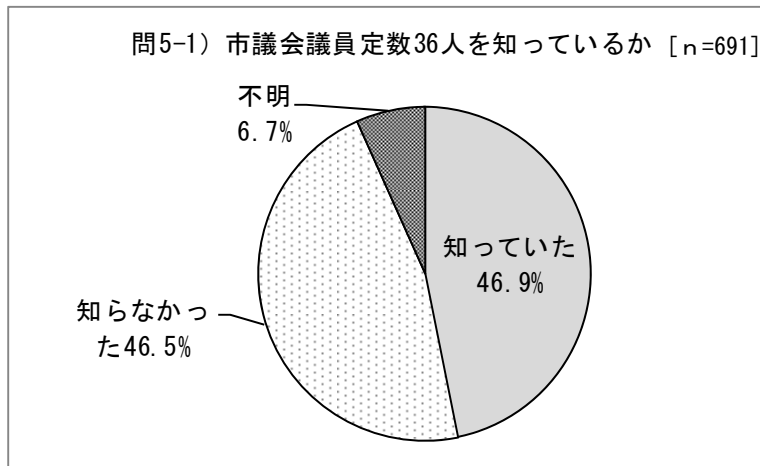
全体では、「評価しない」、「あまり評価しない」が5割を超えた50.1%となり、「評価する」、「かなり評価する」の12.8%を37.3ポイント上回る結果となり、評価の低さを裏付けるかたちとなっている。



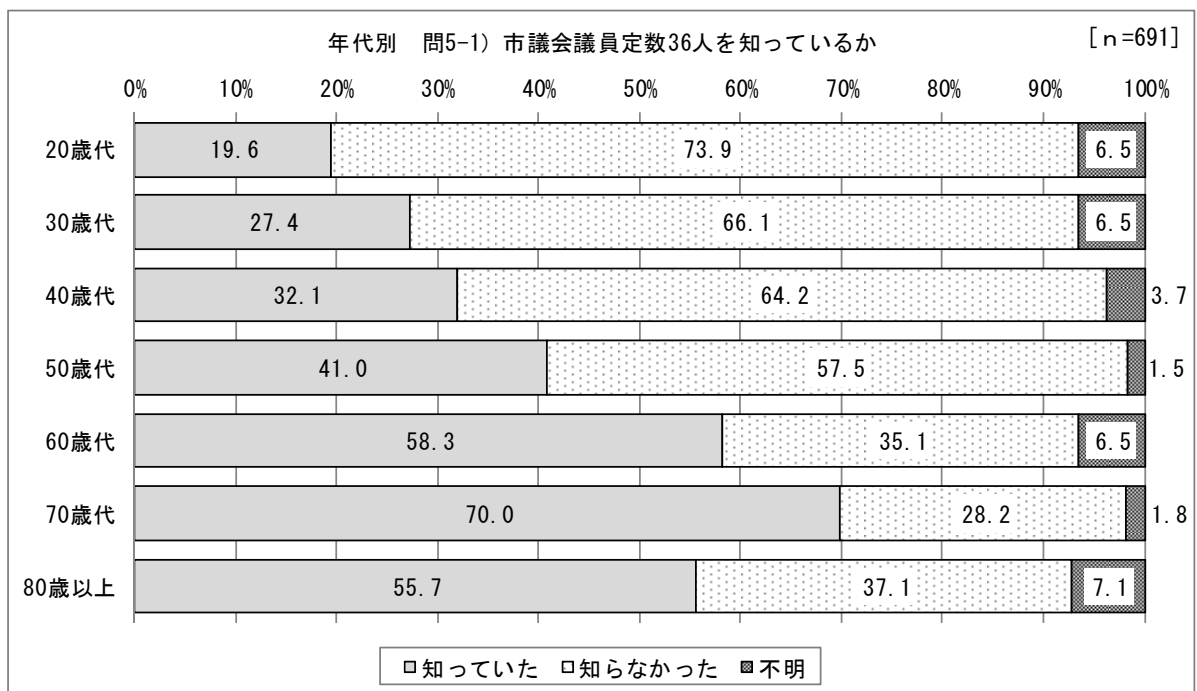
5. 市議会議員の定数について

質問5-1 現在の市議会議員の定数が36人であることを知っていましたか。(○は1つ)

36人定数については、「知っていた」が46.9%、「知らなかった」が46.5%とほぼ半数の結果となり、認知度は全体の5割程度である。



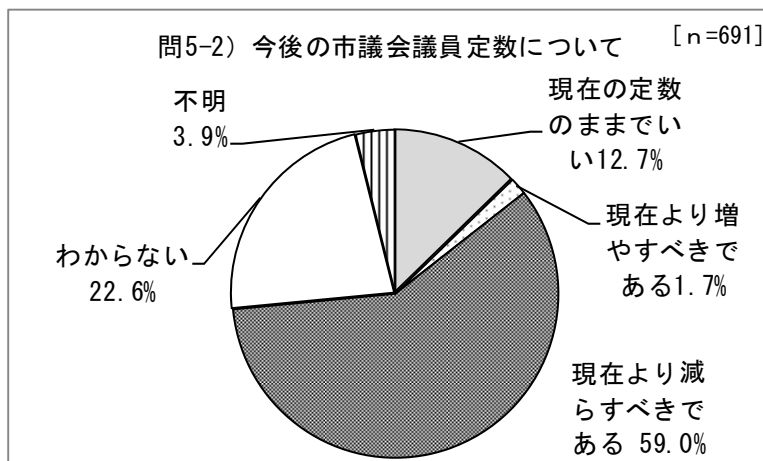
年代別では、「70歳代」の認知度が最も高く、「知っていた」が「知らなかった」を41.8ポイント上回っている。一方で、最も認知度が低かったのは「20歳代」で「知っていた」を「知らなかった」を54.3ポイント下回る結果となり、年代によりかなり認知度が違うことがうかがえる。



質問 5-2 今後の市議会議員の定数について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。

(○は1つ)

今後の市議会議員の定数については、「現在より減らすべきである」が 59.0%と最も多く、次いで「わからない」の 22.6%、「現在の定数のままでいい」の 12.7%と続いている。一方で、「現在より増やすべきである」という意見は全体の1割を大きく下回る低い結果となっている。



問5-2) 議員定数: 増やすべき [n=12]

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	1	8.3
2	4人	3	25.0
3	5人	1	8.3
4	10人	5	41.7
5	30人	1	8.3
	不明だが増やす	1	8.3
	サンプル数	12	100.0

議員定数を「現在よりも増やすべき」という意見の具体的人数では、「10人」が 41.7%と最も多く、次いで「4人」25.0%となっている。

議員定数を「現在よりも減らすべき」という意見の具体的人数では、「6人」が 20.8%で最も多く、次いで「10人」の 18.9%、「2人」の 13.0%と続いている。

問5-2) 議員定数: 減らすべき [n=408]

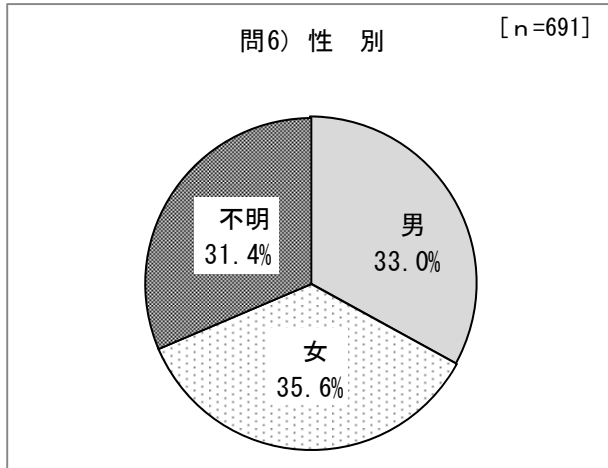
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	1	0.2
2	2人	53	13.0
3	3人	17	4.2
4	4人	30	7.4
5	5人	26	6.4
6	6人	85	20.8
7	7人	2	0.5
8	8人	36	8.8
9	10人	77	18.9
10	12人	2	0.5
11	14人	1	0.2
12	15人	5	1.2
13	16人	15	3.7
14	17人	1	0.2
15	18人	11	2.7
16	20人	6	1.5
17	30人	2	0.5
18	32人	1	0.2
	不明だが減らす	37	9.1
	サンプル数	408	100.0

6. あなた自身のことについて

質問 6 あなたの性別、年代、居住地についてお尋ねします。(〇は1つ)

(1) 性別 (〇は1つ)

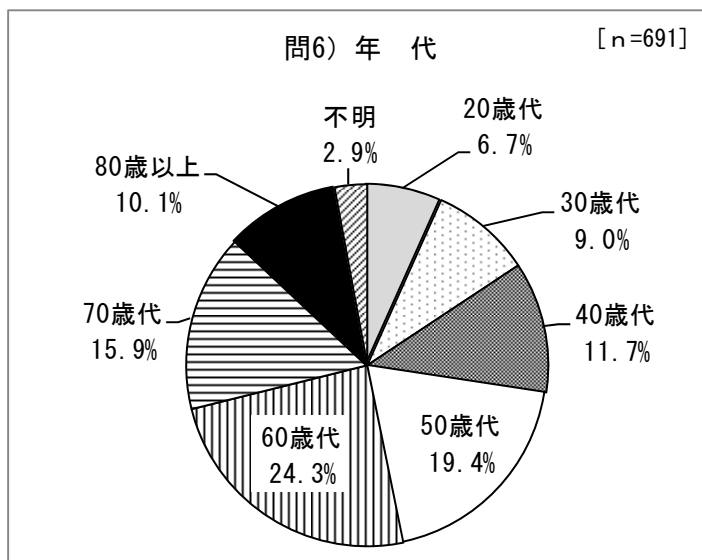
男性と女性、ほぼ同数の回答であった。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男	228	33
2	女	246	35.6
	不明	217	31.4
	サンプル数 (%ベース)	691	100

(2) 年代 (〇は1つ)

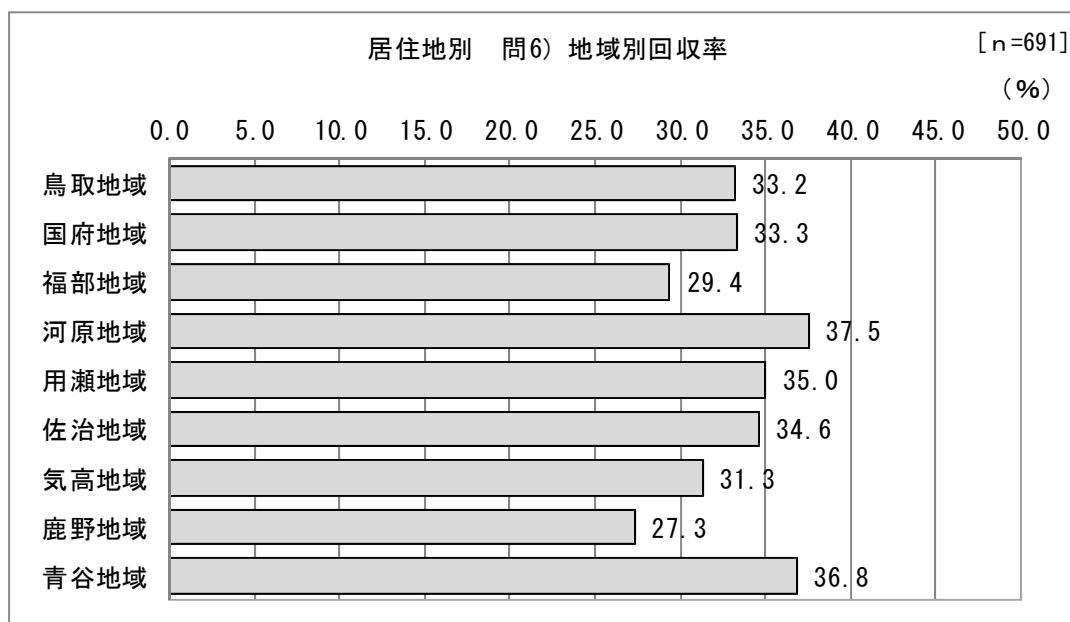
年代では、最も回答率が高いのが「60歳代」の24.3%、次いで、「50歳代」の19.4%、「70歳代」の15.9%と続いており、この年代で全体の約6割を占めており、若年世代の回答率が低い傾向にある。



(3) 居住地 (〇は1つ)

居住地を人口比率により案分し、無作為に抽出した2,000人を対象に調査を行った結果、回収率で最も高かったのは「河原地域」の37.5%、次いで「青谷地域」の36.8%、「用瀬地域」の35.0%と続いている。

No.	カテゴリ	配付枚数	回収枚数	回収率(%)	全体(%)
1	鳥取地域	1514	503	33.2	72.8
2	国府地域	90	30	33.3	4.3
3	福部地域	34	10	29.4	1.4
4	河原地域	80	30	37.5	4.3
5	用瀬地域	40	14	35.0	2.0
6	佐治地域	26	9	34.6	1.3
7	気高地域	96	30	31.3	4.3
8	鹿野地域	44	12	27.3	1.7
9	青谷地域	76	28	36.8	4.1
	不明		25		3.6
サンプル数(%ベース)		2000	691	34.6	100



平成24年8月16日

各位

鳥取市議会
議長 中西 照典
(公印省略)

鳥取市議会に関するアンケート調査について (お願い)

平素は、本市議会の運営に格別のご理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市議会では平成23年6月に「議員定数等に関する調査特別委員会」を設置し、法改正※により議員定数の具体的な検討を進めております。この度、議員定数の審議にあたり、市民の皆様のご意見やご要望を参考にさせていただくため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケート調査では、鳥取市内にお住いの20歳以上の方から無作為に2,000人を抽出し、回答をお願いしています。

つきましては、同封の参考資料をお読みいただいた上、アンケート調査書(無記名回答)にご回答いただき、同封の返信用封筒(切手は必要ありません。)にて平成24年8月30日(木)までにご返送いただきますようお願いいたします。

なお、ご記入頂いた情報は、本アンケートを統計的に処理する目的のみに利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。また、集計結果は公表させていただきます。

本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願いいたします。

(※)法改正について

議員定数は、地方自治法において人口区分に応じて議員の上限数が定められ、その数を超えない範囲内において条例で定数を定めるものと規定されていましたが、地方自治法の一部改正(平成23年5月2日公布)により撤廃されました。よって、今後は、鳥取市が独自に議員定数を定めることができるようになりました。

参 考 資 料

市議会議員は、市民の皆さんのご意見を市政に反映させるため、「市議会」を構成して市民の生活に関するさまざまな問題について十分に調査・研究を行い、議論を重ねて市政を推進しています。

鳥取市議会では、本会議や委員会で、条例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定、契約の締結など重要な市政を審議・決定しています。

定例会・臨時会について

市議会には「定例会」と「臨時会」があります。定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)に開催されます。臨時会は必要に応じて開催されます。

☆議会の流れ

「本会議」開会、議案説明、一般質問、質疑 → 「委員会」議案審査 → 「本会議」委員長報告、採決、閉会

本会議について

市議会議員が本会議場に全員集まって、市政についての議題について話し合うことを「本会議」といいます。本会議は、議場で傍聴することができます。

委員会について

市議会で行き扱う事柄は、数も非常に多く、内容の分野も多岐にわたっています。これらをいくつかの部門に分けて、専門的、能率的に調査や審査を行うために「委員会」が設けられています。委員会は、委員長の許可があれば会議室で傍聴することができます。

現在、鳥取市議会では、次のような委員会が設けられています。

■議会運営委員会（9名）

議会運営を円滑に行うための委員会です。

■常任委員会

議案や陳情などを効率的かつ専門的に審査を行うため、次の4つの常任委員会あります。現在、鳥取市議会では、すべての議員が、次のいずれかの委員会に所属しています。

○総務企画委員会（9名）	情報公開、市税等、戸籍、住民基本台帳等、人権・男女共同参画、防災、市政相談、交通安全、文化芸術、総合支所、選挙・出納・監査・議会などを所管しています。
○福祉保健委員会（9名）	国民年金・国民健康保険、老人保健、介護保険、後期高齢者医療、保育（子育て）、健診、病院事業などを所管しています。
○文教経済委員会（9名）	商業・工業、雇用対策、観光、農業・林業・水産業、学校教育、文化財などを所管しています。
○建設水道委員会（9名）	都市計画、道路・河川、建築、上下水道、環境衛生、自然保護などを所管しています。

■特別委員会

特に政治的に重要なもので常任委員会での審査からは切り離す必要がある場合、行政全般にわたる総合的な施策に係ると考えられる場合など、必要がある場合にその都度設置します。現在、鳥取市議会では、次のような特別委員会が設置されています。

- | |
|----------------------------|
| ○鳥取市庁舎耐震改修等に関する調査特別委員会（9名） |
| ○議員定数等に関する調査特別委員会（9名） |
| ○予算審査特別委員会（36名） |
| ○決算審査特別委員会（35名） |

■その他

その他にも、次のようなものが設置されています。

- | | |
|--------------|--|
| ○議会広報委員会（7名） | 議会だよりやホームページなどにより、議会の情報を広く市民に提供し、開かれた議会の推進を図るための委員会です。 |
| ○全員協議会（36名） | 執行機関から予算・決算の概要や主な事業について説明を受けたり、議員全員で話し合いを行ったりしています。 |

議員定数の編成について

鳥取市議会は、市町村合併（平成16年11月）により、一時的に議員数が増えましたが、平成18年11月の改選時には条例により議員定数を36名とし、現在も議員数は36名となっています。

議員定数は、地方自治法において人口区分に応じて議員の上限数が定められ、その数を超えない範囲内において条例で定数を定めるものと規定されていましたが、地方自治法の一部改正（平成23年5月2日公布）により撤廃されました。よって、今後は、鳥取市の条例において独自に議員定数を定めることができます。

■鳥取市の議員定数

	議員数(人)	条例定数(人)	法定数(人)	備 考																		
平成16年11月	44	32	38	市町村の合併特例に関する法律第6条第2項の規定により、経過措置として議員数が12名増加し44名となっています。 ※市町村合併後の議員定数44名の内訳 (平成16年11月～平成18年11月)																		
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>鳥取市</th> <th>旧国府町</th> <th>旧福部村</th> <th>旧河原町</th> <th>旧用瀬町</th> <th>旧佐治村</th> <th>旧気高町</th> <th>旧鹿野町</th> <th>旧青谷町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	鳥取市	旧国府町	旧福部村	旧河原町	旧用瀬町	旧佐治村	旧気高町	旧鹿野町	旧青谷町	32	2	1	2	1	1	2	1	2
鳥取市	旧国府町	旧福部村	旧河原町	旧用瀬町	旧佐治村	旧気高町	旧鹿野町	旧青谷町														
32	2	1	2	1	1	2	1	2														
平成18年11月	36	36	38	市議会議員選挙（改選）																		
平成22年11月	36	36	38	市議会議員選挙（改選）																		

■類似都市の状況

市 名	議員定数(人)	人 口	面積(k㎡)	市 名	議員定数(人)	人 口	面積(k㎡)
鳥取市	36	19万6千人	766	沼津市	28	20万6千人	187
松江市	34	19万3千人	530	宇治市	28	19万0千人	68
呉市	34	24万1千人	354	伊丹市	28	19万6千人	25
山口市	34	19万5千人	1,023	熊谷市	32	20万2千人	160

返送分

鳥取市議会に関する市民アンケート

調 査 票

鳥取市議会議員定数等に関する調査特別委員会

本アンケートに関するお問い合わせ先
鳥 取 市 議 会 事 務 局

- ・ 電話 : 0857-20-3342 ・ ファックス : 0857-20-3049
- ・ 電子メール : gikai@city.tottori.lg.jp

調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
平成24年8月30日（木）までにお近くのポストにご投函ください。

1 市議会への関心度について、おたずねします

質問 1-1

市議会に関心がありますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

質問 1-2

鳥取市議会だよりを読んでいますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. どの記事も読む | 2. 関心のある記事だけ読む |
| 3. 存在は知っているが読まない | 4. 存在すら知らない |

質問 1-3

鳥取市のホームページにある市議会の内容を見たことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 関心を持ってみている | 2. 見たことがある |
| 3. あることは知っているが見たことはない | 4. 存在すら知らない |

質問 1-4

市議会の会議（本会議・委員会）をご覧になったことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 議場等で傍聴したことがある | |
| 2. ケーブルテレビで見たことがある | 3. 見たことがない |

2 市議会議員の活動について、おたずねします

質問 2 - 1

市議会議員の活動内容を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. だいたい知っている |
| 3. 少し知っている | 4. 知らない |

質問 2 - 2

市議会議員の活動に満足していますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。また、その理由を記入してください。

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. やや不満である |
| 4. 不満である | 5. わからない | |

(理由)

質問 2 - 3

市議会議員から意見や要望を求められたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 求められたことがある | 2. 求められたことはない |
|---------------|---------------|

質問 2 - 4

市議会議員に意見や要望を伝えたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 伝えたことがある | 2. 伝えたことはない |
|-------------|-------------|

質問 2 - 5

(質問 2 - 4 で 2 を選ばれた方) 選ばれた理由としてあてはまるものを下記の表

3 市民の意見が市議会へ反映されているかについて、おたずねします

質問 3

市民の意見が市議会に反映されていると思いますか。あてはまると思われるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。また、その理由を記入してください。

1. 思う 2. やや思う 3. 思わない 4. わからない

(理由)

4 あなたの市議会に対する評価について、おたずねします。

質問 4

あなたは現在の市議会を評価しますか。あなたの考えにいちばん近いものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。また、その理由を記入してください。

1. かなり評価する 2. 評価する 3. あまり評価しない
4. 評価しない 5. わからない

(理由)

5 市議会議員の定数について、おたずねします。

質問 5 - 1

現在の市議会議員の定数が36人であることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。

1. 知っていた 2. 知らなかった

質問 5 - 2

今後の市議会議員の定数について、あなたの考えにいちばん近いものを1つだけ選んで記号に○をつけてください。また、その理由を記入してください。

1. 現在の定数のままでいい
2. 現在より（ 人程度）増やすべきである
3. 現在より（ 人程度）減らすべきである
4. わからない

（理由）

6 あなた自身のことについて、おたずねします

質問 6

あなたの性別、年代、居住しておられる地域について、下記のうち該当するものにそれぞれ記号に○を記入してください。

性別	1. 男 2. 女
年代	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳代以上
お住いの地域	1. 鳥取地域 2. 国府地域 3. 福部地域 4. 河原地域 5. 用瀬地域 6. 佐治地域 7. 気高地域 8. 鹿野地域 9. 青谷地域

7 あなたが市議会に期待すること、その他ご意見などがありましたら下記にお書きください。

--

以上でアンケート調査は終わりました。

ご協力ありがとうございました。